

プラウド船橋 一街区・二街区

No. 16-018-2014更新
新築
集合住宅

発注者	野村不動産株式会社、三菱商事株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO ₂ 技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB
設計・監理	戸田建設株式会社一級建築士事務所 TODA CORPORATION	E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携	
施工	戸田建設株式会社	I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他	

先進の技術を活かし、自然とともに生きていく、新しいエコライフの創出



全体街区 完成予想図

最先端技術を活かし、環境に配慮した街づくり

計画敷地は、千葉県船橋市、東武野田線「新船橋」駅前に位置する。敷地面積は約112,000㎡の首都圏最大級の再開発プロジェクトである。

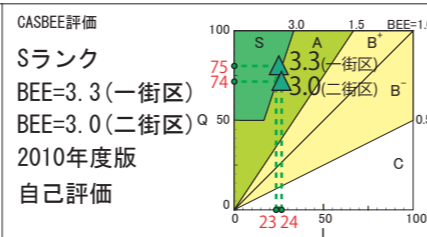
敷地内には約1,500戸のマンション（一～五街区）と商業施設、総合病院、子育て支援施設、公園、クラブハウスが設けられた。マンション街区のうち先行して分譲された一・二街区を戸田建設が担当した。

各街区が高い環境性能を満たすよう、地区計画策定の趣旨に則り、壁面セットバックやグリーンベルトの設置を行なっている。先進の技術（太陽光発電、エネルギーの見える化、Low-Eガラスなど）とパッシブデザイン（バルコニーエコフック、庇）を組み合わせ、合理的で質の高い省エネ性能を実現している。



プラウド船橋一・二街区 外観

所在地	千葉県船橋市
竣工年	2013年
敷地面積	13,121㎡(一街区)、9,516㎡(二街区)
延床面積	37,191㎡(一街区)、25,781㎡(二街区)
構造	RC造 一部S造
階数	地下1階、地上10階



“見える化”による省エネ&エコライフ

電気・ガス・水道の使用量を、わかりやすくグラフ表示し、インターネットを介してパソコンやスマートフォンで確認可能。また、専有部の電気の使用量は住戸内に設置された表示パネルでも確認することができる。過去の使用量との比較やマンション内での省エネ度ランキングなどの表示も可能になっている。



各住戸に設置されるHEMS機器イメージ

ストリートに面したエスコートルーフとポケットパーク

一街区と二街区の間を通るシンボルストリートは、4列の並木道となっており、歩道の上部には雨や強い日差しを遮るためのエスコートルーフを設けた。

また、ストリートにはウッドデッキのポケットパークを設けることで住民同士の交流や憩いの場となるよう配慮した。



エスコートルーフ

街角のポケットパーク

設計担当者

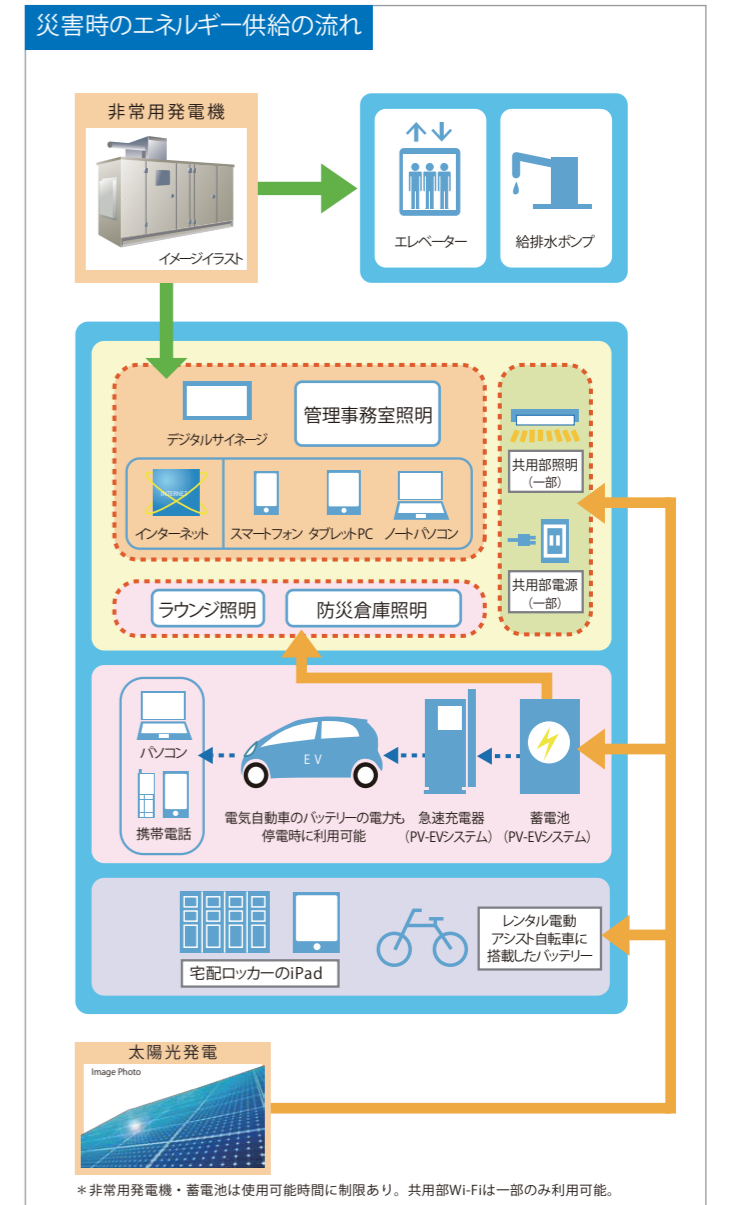
PM：柳沢宗彦／建築：山島勝、中本裕美子、加茂川智哉、八木和憲／構造：手塚純一、内藤毅、太田行孝、宮川欣也、今川祐樹
設備：小川定巳、繁田和弘、有馬真人、杉平善直

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q2. 2. 耐用性・信頼性 (品確法劣化対策等級3、長期耐用可能なダクト配管)
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (建物高さ・外観を統一して計画し、まちなみに調和)
- Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮 (大規模緑地、中庭・歩道・ポケットパークの整備)
- LR1. 2. 自然エネルギー利用 (太陽光パネルの設置)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化 (LEDランプ、エコジョーズ)
- LR2. 1. 水資源保護 (雨水再利用装置)

非常時にも、安全を守るエネルギーを供給するシステム

非常用発電機を配置し、緊急時はエレベーターや給排水ポンプなどの電源として活用し、共用部にも電力を供給する。PV (太陽光発電) と蓄電池、EV (電気自動車) の充電器を組み合わせたシステムを計画。停電時には電気自動車は動く電源となり、昼間に太陽電池で発電した電気を蓄電池に貯めてラウンジなど共用部の夜間の照明に利用可能。また、太陽光発電の電力の一部は、蓄電池からレンタサイクルのバッテリーの充電に使用でき、非常時には宅配ロッカーから通じるLAN回線を利用できる。



システム概念図